

だれもが安心して自分らしく暮らせるまちの実現に向けて……	■ 目次 ■
新春のつどい……	
第7ブロック保護司組織運営連絡協議会……	
東京更生保護事業関係者顕彰式典……	
地域活動部活動報告……	
更生保護女性会活動報告……	
桐友会だより……	
北多摩東BBS会活動報告……	
研修部活動報告……	
コラム「窓」……	
ぶんくトピックス……	
社会を明るくする運動……	
四市共通テーマ「水」……	
退任保護司紹介・新任保護司紹介……	
多摩連報告……	
編集後記……	

(8)(8)(8)(8)(7)(6)(5)(5)(4)(4)(4)(3)(3)(2)(2)(1)



令和7年度 第2号



だれもが安心して自分らしく 暮らせるまちの実現に向けて

国分寺市長 丸山 哲平

北多摩東地区保護司会の皆様におかれましては、日頃より地域の安全・安心のための更生保護活動に多大なる御尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、令和7年7月13日から国分寺市長に就任いたしました。市政を担う立場として、市民の皆様一人一人が安心して暮らせるまちづくりを実現するため、全身全霊で職務に取り組んでいます。

さて、近年、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。人々の価値観や行動様式は大きく変わり、それに伴い様々な課題も顕在化しています。

犯罪の状況においても、SNS等を悪用した犯罪の増加をはじめ、犯罪の内容やその背景は、複雑化・多様化してきています。

一方で、令和7年6月には、個々の受刑者の特性に応じたきめ細やかな処遇の実現を目指す、拘禁刑が新たに創設され、効果的な改善更生と円滑な社会復帰に向けた取組について、全国的な見直しが進められています。

このような社会情勢の中、国分寺市では、“社会を明るくす

る運動”を通じて、ひまわりコンサートや、ひまわり畑での迷路開放など、民間協力者の方や関係機関の皆様と連携したイベントを開催し、再犯防止に関する広報・啓発を行っています。

このような活動を通して、一人でも多くの市民に、地域としての犯罪の未然防止や、立ち直りの支援を身近に感じていただき、互いに支え合える地域づくりに、つなげていきたいと考えています。

日々、更生保護に尽力されている保護司の皆様は、地域社会にとって非常に重要です。

一人一人に向き合いながら、再出発を支え続けてこられた皆様の献身的な努力こそが、地域社会の安全・安心を支えていることにほかなりません。本市としても、保護司の皆様が円滑に活動できる環境づくりに、今後も協力してまいります。

結びに、北多摩東地区保護司会のますますの御発展と、保護司の皆様のお健勝、御多幸を心より祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

令和8年

北多摩東地区保護司会「新春のつどい」

令和8年1月23日(金)11時から
14時30分まで吉祥寺東急R E Iホ
テル・3階「むさしの」の間にて
新春のつどいが開催されました。

高橋豊北多摩東地区保護司会会
長、吉原直深東京保護観察所立川
支部長、小美濃安弘武蔵野市市
長、白井亨小金井市市長よりご挨拶
をいただき、各市市議会を代表
して木崎剛武蔵野市議会議長のこ



挨拶、来賓の皆様方のご紹介(主任
官・桐友会・各市事務局)がありま
した。そして、今年度に表彰を受
けられた受章者に記念品を一人
ごとに贈呈されました。受章者
を代表して瑞宝双光章を賜られた国
分寺分区の尾崎幸信様より謝辞が
ありました。その後、吉原立川支
部長を講師として「保護司法等の
改正動向について」をテーマとし
て講演・研修が行われました。全
体で71名の参加がありました。

休憩をはさみ、ここ数年開催を
控えていた懇親会が開催され、森
田忠男北多摩東桐友会会長の乾杯
のご発声で懇親会が始まり、その
後は出席者各々が各テーブルを回
りながら和やかな雰囲気の中ホテ
ルでの食事を楽しむことができました。

(総務部長 木川 憲子)

第7ブロック

保護司組織運営連絡協議会

令和7年10月21日(火)、本年度
の第7ブロック保護司組織運営連
絡協議会は「社会を明るくする運
動について考える」を協議題にパ
ネルディスカッション形式で府中
市駅前バルトホールにて実施しま
した。

”社会を明るくする運動“につい
て「マンネリ化している」「運動の
趣旨が地域の方々に伝わっていな
い」「保護司自身が運動の意義をよ
くわかっていない」との声により、
調布・狛江地区、北多摩北地区、



北多摩東地区、北多摩西地区、府
中地区の五地区が集まり協議をし
ました。来賓として、東京都保護
司会連合会の野崎重弥副会長、府
中市の高野律雄市長、東京保護観
察所の杉山弘晃所長、東京保護観
察所立川支部の吉原直深支部長、
多摩地区保護司会連絡協議会の土
方三男会長などをお招きし、深み
のある話し合いができたと思います。

特筆すべきは「社会を明るくす
る運動」の啓発活動を地球温暖化で
暑くなった7月に行うと、保護司
の高齢化に伴い危険だ」という報
告が多かったことです。それに対
する興味深い意見として「4月の
国際保護司デーの前後に行うのも
良いのではないか」「商業施設を
含めた建物の中で行うのも良いの
ではないか」というものもありま
した。次年度以降の計画を立てる
上でも、参考になった連絡協議会
でした。(研修部長 和田 俊彦)

東京更生保護事業関係者 顕彰式典

令和7年度の東京更生保護事業関係者顕彰式典が11月21日（金）品川区立総合区民会館きゅりあんで開催され、北多摩東地区保護司会の関係者28名の方々が更生保護事業の進展に寄与された功績を顕彰されました。

叙勲（春）瑞宝双光章

尾崎 幸信（国分寺）

褒章（春）藍綬褒章

三橋 優子（三鷹）

法務大臣表彰

立川 八重子（武蔵野）

全国保護司連盟理事長表彰

須藤 利一（三鷹）

望月 加奈子（武蔵野）

阿部 勉（三鷹）

関東地方更生保護委員会委員長表彰

内藤 達也（国分寺）

伊藤 さつき（武蔵野）

木川 憲子（武蔵野）

塚越 明夫（三鷹）

本多 勇（国分寺）

関東地方保護司連盟会長表彰

森屋 正（三鷹）

和田 俊彦（三鷹）

河野 律子（小金井）

田中 勉（小金井）

岩井 昭治（武蔵野）

金子 千佳（国分寺）

東京保護観察所長表彰

加藤 真由美（小金井）

原島 秀夫（国分寺）

日向 博（三鷹）

東京都保護司会連合会会長表彰

二瓶 比呂子（国分寺）

安達 眞弓（三鷹）

大橋 純子（小金井）

小野 純一（三鷹）

村澤 司（小金井）

押野 功悦（三鷹）



地域活動部活動報告

BBS意見交換会・講演会

令和7年の総会で地域活動部長を拝命して現在まで活動をして来ましたが、地域活動部の活動状況について説明したいと思います。

初めて地域活動部長という責任ある立場となり、一番重要なことは部員の融和協調を図り、リーダーシップをとって業務を推進することだと思っております。部員は、年齢や経験等千差万別であり、意見集約するには、意見を良く聞き、会議後の懇親の場での意見交換等で人間関係をつくったりして部会としての取り組みを決めて来しました。

その中で、10月にはBBS会との意見交換会を実施し、BBS会から10名、保護司9名の参加を得て、お互いに日頃の活動の説明や質疑応答等で有意義な時間を過ごしました。今後もBBS会や他の団体との連携を図って行きたいと思えます。



次に12月に地域活動部主催の講演会を開きました。これは、地域活動の一環として実施したもので、東日本少年矯正医療・教育センター保健課長の嶋田博之先生から「少年院における精神科医療について」の演題で講演を受け、保護司をはじめ民生委員、学校教師、更生保護女性会、桐友会、BBS会等の会員約50名が受講しました。PR不足の為受講者数が少なかった反省点がありますが、実施する上で部員一人一人が担当の役割を積極的に果たし、皆で協力して講演会を実施することができました。

地域活動部の活動は、これをしてしなければならぬといったものは無く、範囲も広いので、今後も部会で良く話し合い、安全で安心な地域社会を創るため、皆で協力して活動して行きたいと思えます。

（地域活動部長 内田 正明）



更生保護女性会活動報告

講演会研修と視察研修

令和7年11月5日(水) 国分寺市立本多公民館に於いて、全会員対象に研修会を開催しました。当日は吉田進氏による「大人だけが知らない薬物乱用の実態」の講演がありました。小・中学校での授業を通して、薬物から子ども達を守る活動をしている講師のお話を伺い、改めて大人が薬物の知識に関心を持つ事の大切さを考えさせられました。

12月15日(月) 「立川拘置所」の視察研修に参加しました。立川拘置所は外壁のない都市型拘置所でした。担当職員から拘置所の概要説明の後、施設内の見学をしました。参加者からは多くの質問が出て、大変有意義な研修でした。

(秦 美恵)



桐友会だより

北多摩東地区桐友会 会長 森田 忠男

○東京桐友会の活動

令和7年6月23日(月)

第一回理事会が東京保護観察所にて開催され、本年より理事になられた當麻光氏が参加しました。

令和7年10月23日(木)

総会及び懇親会が、スクアール麹町にて開催され、當麻理事、中村扶佐子(武蔵野)、小林悦子(三鷹)、林邦子(三鷹)の会員4名が、出席しました。

○北多摩東地区桐友会の活動

令和7年9月 北多摩東保護司会報142号を配布いたしました。

本年度の活動は例年通り地区や分区の保護司会が実施する行事への参加でした。

令和7年12

月2日(火)、

保護司会地域活動部の講演会に、6名の会員が参加いたしました。



北多摩東BBS会 活動報告

北多摩東BBS会 会長 熱海 和奏

こんにちは。北多摩東BBS会会長の熱海です。昨年は大変お世話になりました。2025年は、当地区BBS会にとって精力的に活動に取り組むことができた一年であつたと感じています。

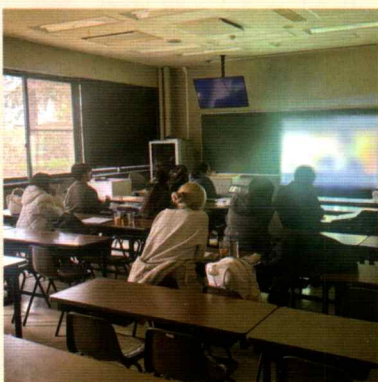
春には、東京学芸大学の新入生を中心に約20名が新たに入会しました。前年度に引き続き、更生保護施設におけるグループワークの実施や、定期的な学習会・定例会の開催を継続して行いました。また、自己研鑽活動の一環として、立川市内で夜間に運営されている居場所への見学を実施し、延べ15名の会員が参加しました。見学後には、実際にボランティアとして継続的に関わる会員もおります。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により非対面での開催が続いていた北多摩東BBS会総会についても、昨年度より対面形式での開催を再開することができました。その際には、地域活動部の皆さまにご臨席を賜り、誠にあ

りがとうございました。

加えて、当地区BBS会の大きな成果として、「ともだち活動」の再開が挙げられます。今回は児童養護施設に入所する児童を対象とし、学習支援や日常的な交流を通して、安心できる関係づくりを大切にしながら活動を行っています。

一方で、役員の人手不足や活動参加者の固定化といった課題も抱えています。今後もこれらの課題に向き合いながら、保護司会の皆さまと連携し、「生きづらさ」を抱える子ども・若者に寄り添う活動を継続してまいります。今後ともご指導・ご支援のほど、よろしく願っています。





第III期地域別定例研修

4号保護観察対象者の処遇について

令和8年1月28日(水)・2月6日(金)に実施され、参加者は延べ51名。樺澤主任官、武内主任官に講師を、お願いいたしました。研修の目的は「効果的な処遇を行うため、保護観察付全部猶予者に関する情報や留意事項を理解すること」です。

処遇区分についての現状の説明の後、仮想事例を基にグループ討議を行い「初回面接時に気を付けること」や「この対象者に対して、どのような指導・助言をしていくか」について話し合い、発表しました。

アンケートでは「4号未経験者は受講した方が良かった」と他のグループの内容も共有できて良かった」「困難なケースを学ぶ良い機会となった」と肯定的な意見が多く寄せられました。

研修部活動報告 第III期地域別定例研修と 多摩地区保護司会連絡協議会全体研修

多摩連保護司全体研修会 拘禁刑下における刑務所の取組

令和8年2月4日(水)、多摩地区保護司会連絡協議会全体研修会が府中刑務所長西岡慎介氏を講師に、八王子市いちょうホールにて実施されました。

北多摩東地区の保護司会からは約30名の参加がありました。

「再犯防止対策の必要性」(約3割の再犯者により約6割の犯罪が行われている)実態を踏まえ、「拘禁刑創設の趣旨」について説明がありました。新しい拘禁刑は、再犯防止を主眼とし、入所時に処遇調査をし、そのあと社会復帰支援を本人の特性に応じて「作業↓教科指導↓改善指導」の矯正処遇を実施し、再犯を防ぐという取組です。「処遇・社会復帰支援モデル事業」紹介もあり、質疑応答も充実していました。

(研修部長 和田 俊彦)



コラム『窓』

武蔵野分区 松尾 竜哉

昭和の少年と更生保護活動

1970年初頭、片田舎に育った竜哉少年は、TVが最高の娯楽でした。

『あしたのジョー』の丈が行く少年鑑別所(恐らく練馬の東京少年鑑別所)と、「東光特等少年院」は、「怖い場所」に見えました。フィクションとはいえ、誤解されやすい描写でしたね。現代なら「やり直す訓練の場所」として紹介して欲しいところ。この少年院は架空の施設ですが、横須賀の久里浜少年院がモデルとされていて、『サイボーグ009』のジョーも一時入所している設定のようです。

『笑点』では、強面&乙女キャラの七代目 桂才賀師匠が大好きでした。刑務所、少年院等への慰問活動を積極的に行っていることを知ったのは、私が保護司になってからでした。残念ながら昨年鬼籍に入られ、お目にかかる最後のチャンスだった一昨年の第64回全

チャンスだった一昨年の第64回国矯正展に、都合で行けなかったことが悔やまれてなりません。

祖母とよく観ていた時代劇は杉良太郎さん主演『遠山の金さん』。その「杉さま」が法務省特別矯正官(永久委嘱)として、矯正・更生保護活動の支援にご尽力されていることを知ったのは、やはり随分経ってからです。「金さん」のように情に厚く、無私の行動は、人として尊敬するばかりです。気がつけば、昭和の少年は令和の保護司に。躰いてしまった人たちの、再前進のお手伝い中。



法務省HP 矯正局イベント情報より

武蔵野分区

管外研修



令和7年11月28日(金)に立川市にある国連アジア極東犯罪防止研究所(アジ研)と立川拘置所を視察しました。アジ研は、国連と日本政府の合意により1962年に設立され、国連の犯罪防止・刑事司法プログラムネットワーク機関の一つとして世界各国の司法実務家を対象に犯罪者処遇などの研修等を行っています。研修等には、144の国と地域から6700名以上が参加しています。

視察では、保護司制度などについて他国との違いについても説明があり、グローバルな視点でも犯罪防止について考える必要があると感じました。

昼食休憩をはさみ、午後には立川拘置所の視察を行いました。立



川拘置所では、屋上にある屋外運動場や収容者との面会室、収容者の単独室、炊場などを見学しました。

(高橋 榮治)

三鷹分区

新年総会



昨春藍綬褒章を受章した三橋保護司が、令和8年1月に退任されました。退任前の11月28日(金)、そのお祝いを兼ねた茶会が催され多くの保護司やOBが参加しました。茶道の先生でもある三橋さんはこの日の茶室の掛け軸に「松鶴契千年」という言葉を選び、「退任後もいつまでも変わらず仲良くしていきたい」という気持ちを込めたとのことでした。

また、1月9日(金)の分区新年総会には、現役だけでなくOBや市議会議員など来賓の方々も出席され、分区活動の充実を願うとともに三橋さんの退任を祝いました。三鷹分区は保護観察・環境調整とも件数が多く、一人一人の保護司



の負担と責任は決して小さくありませんが、みなで助け合い仲良く活動しています。

(山崎 豊)

ぶんくろピックス

小金井分区

管内研修



令和7年12月17日(水) 狛江市の愛光女子学園を視察しました。この学園は、昭和24年に日本最初の国立女子少年院として設立され、70年以上にわたり女子の矯正教育に尽力されています。入院者は発達障害の子供が多く、また半数以上の子供が虐待を経験しているとのことでした。年齢は比較的低年齢の子が中心で、現在は14歳から18歳の子が入院しています。入院の理由としては、(ぐ)犯、強盗、薬物が半数を占めており、強盗については美人局など暴力より共犯で捕まるケースが多いとのことでした。また、入院者の資格取得のための職業訓練や高卒認定試験指導なども実施されており、体育指導として少年院で唯一屋内プールを備えています。3月には中学生の卒業式も行われているそうです。



出院所すべて仮退院という形で仮退院後も保護観察をするということで、保護司の責任の重さを感じる研修でした。

(星野 智樹)

国分寺分区

研修会



令和7年12月10日(水)、東京保護観察所の吉原直深立川支部長をお招きし、分区研修会「自分で自分を上手に助ける方法」を開催しました。研修では、認知行動療法に基づくコーピング(ストレスから自分を助ける方法)について学びました。混んでいる電車で、目の前の席が空いたのに横から若い人が座ってしまった時のストレス解消法という身近な題材で、分かりやすく学ぶことができました。

コーピングは、「お菓子を食べる」「早く寝る」など小さな行動を多く持つほど、ストレスと上手に付き合えることも印象的でした。参加者同士のコーピングも参考にしながら、たくさん探しました。対象者はストレスを自覚して



いないこともあるので、一緒に息抜きしながら話し合っていこうと思いました。

(金子 千佳)

第75回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区

地域祭りでの広報活動

武蔵野分区では年間を通し「社会を明るくする運動」の啓発活動をしています。

令和7年10月18日(土)には、西部コミセン文化祭会場のロビーをお借りして、刑務用品の販売や啓発活動を行いました。天候に左右されない室内での活動で、多めの用品を用意しましたが、会場を訪れる方が興味を示し、手にとって確かめられたうえで購入されていました。



11月29日(土)には、今年の猛暑を避け延期されていた千川地域祭りが、千川小学校で開催されました。校庭での啓発活動は肌寒さを感じました。今回初めての試みとして、ブルーステイックのみ販売することとしましたが、マスコミ等で人気のある商品ということもあり、無事完売することができました。

(村雲 祐二)

三鷹分区

三鷹商工まつり

令和7年12月6日(土)、7日(日)の2日間三鷹商工まつりが開催されました。三鷹分区の事務局と保護司は、「社会を明るくする運動」三鷹市推進委員会のブースにて刑務作業品の販売を行いました。

自由帳などの紙製品は様々な地域からの豊富な品揃えで子供たちに人気があり、パスタはあつという間に完売しました。恒例の洗濯用石けんブルーステイックは毎年ここで買えるのを待っている方が多くいらっしゃり、好評でした。



地域の皆様に「社会を明るくする運動」の趣旨をお伝えすることは難しいのですが、私たち保護司は地域の特性を生かして丁寧に作られた品物の販売を通して、これを作った人たちがいずれ地域社会で安定して暮らせるようお願いながら毎年販売を行っています。

(鎌田 広美)

小金井分区

刑務作業品販売会

令和7年10月11日(土) 10時から17時、武蔵小金井駅南口フェスティバルコートにて「刑務作業品販売会」を開催しました。刑務作業品販売は、従来、小金井分区の事業の一つとして、市民まつりに行ってきましたが、今年度は北多摩東地区保護司会小金井分区と更生保護女性会との共同により開催しました。販売品目は木工品、革細工、固形石鹸、網走監獄マーク入りのポーチといった人気商品をはじめ、帆布製のバッグやペンをケースなどデザイン性の高い作業製品41点と、地元小金井市真蔵院発祥の再犯防止の願いをこめた「はすの実守り」をお守りとして販売しました。



当日は小雨で寒さを感じた一日でしたが、市民の方へ刑務作業品の歴史や背景と素材の良さ、価格もお手頃な魅力をお伝えすることが出来ました。

(小野 留美子)

国分寺分区

福祉センターまつりと国分寺まつり

令和7年10月26日(日)、市立福祉センターにて「福祉まつり」が開催され、刑務作業製品の販売や、チラシ・リーフレット・ポケットティッシュ等の周知物配布によるPR活動を行いました。施設竣工50周年の節目となる開催で、霧雨の天候にもかかわらず多くの来場者が訪れ販売物品は完売しました。



また、11月3日(日)には、都立武蔵国分寺公園で「国分寺まつり」が開催され、同様の活動に加え、恒例のワークショップでは、ホグちゃん・サラちゃんのぬり絵をした子ども達に『ガチャガチャ』で社明の景品を渡し、ブースは賑わいを見せました。両日とも、多くの推進委員の皆様のご協力のおかげで明運動となりました。

(林 博行)

三鷹市

多摩地区は、奥多摩の雪解け水や雨が多摩川水系河川となり、人々の暮らしと自然を結んでいます。玉川上水は江戸時代に整備され、街づくりを支えました。三鷹市を流れる仙川（写真）や野川は湧水に育まれ、縄文時代からインフラとして機能してきました。その水は今や東京の水道水となり、世界最高水準の安全性を誇る未来への遺産としてこれからも守り続けられるでしょう。



武蔵野市

武蔵野市水道事業は、東京都から独立しています。市内27カ所の井戸水と、東京都管理の浄水場（朝霞、東村山など）の水を、市内2つの浄水場でブレンドし、安全で美味しい水が供給されています。「水・好き」のキャッチコピーで、市民に愛される水道水ではありますが、老朽化した鉄管の早期更新のため、都営水道との統合が計画されています。



水

国分寺市

国分寺伝『医王山縁起』によると、嘉祥元年（848年）、不治の病に苦しんだ玉造小町が、病気を治すために国分寺を訪れ、21日間薬師如来を参拝。すると一人の童子が現れ、小町を池に案内し、この池の水で洗い清めるようにと言った。小町が身を清めると、病は癒え、元の姿（真姿）に戻った。この言い伝えによって「真姿の池」と呼ばれるようになりました。



小金井市

小金井市には国分寺崖線に沿って豊かな湧水が点在し、回遊式庭園を備えた滄浪泉園、岩間から清水が湧く貫井神社、はけの森美術館裏の美術の森緑地があり、これらは「東京の名湧水57選」に選ばれるなど、野川へと流れ込み周辺の生態系を潤しています。また、六地蔵の「黄金の水」では地下深井戸の水を汲むことができ、住民に親しまれています。湧水は市民の生活の一部として、散策や水文化の魅力を伝える貴重な資源です。



退任保護司

長い間お疲れさまでした。
今後ますますお元気で活躍くださいよう祈念申し上げます。

三橋 優子 氏（三鷹分区）

令和8年1月31日（在職22年）

大澤 正男 氏（小金井分区）

令和7年9月16日（在職16年）

信山 勝由 氏（小金井分区）

令和7年9月16日（在職18年）

田中 良人 氏（国分寺分区）

令和7年9月17日（在職25年）

井澤 邦夫 氏（国分寺分区）

令和8年1月31日（在職12年）

新任保護司

左記の方が委任されました。
今後のご活躍を期待いたします。



（武蔵野分区）
落合 勝利 氏
令和8年2月1日
発令



（武蔵野分区）
中野 沙織 氏
令和8年2月1日
発令

（国分寺分区）
丸山 哲平 氏
令和8年2月1日
発令



（国分寺分区）
本橋 巧 氏
令和8年2月1日
発令

多摩地区保護司会
連絡協議会報告

令和7年

◇6月10日 理事会

立川第二法務総合庁舎

◇12月12日 受賞祝賀会

9階大会議室

ホテルエミシア東京立川

令和8年

◇2月4日 研修会

八王子市芸術文化会館

いちようホール

編集後記

桜花の候、無事会報誌第143号をお届けする事が出来ました。ご多用の中ご寄稿下さった皆様
に心より感謝申し上げます。
今後も保護司の皆様のご協力を
得ながら情報を発信して参ります。
発行に際してご協力下さった皆
様にお礼申し上げます。
（広報部員一同）